令和7年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和7年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	たまやま振興株式会社	所 管 課	玉山絲	総合事務所産	筐業振興 課				
所在地	〒 028 - 4134 盛岡市下田字生出893番地11								
電話番号	(019) 683 - 3215	設立年月日	平成9	年9月5日					
代表者	代表取締役社長 後藤敏弘 🗌 常 勤 🗹 非常勤	□市○日	V	市現職 🗆	その他				
設立目的									
	農村資源を活用した都市との交流を推進し、地域の活性化を図ると共に市民の保養と憩いの場として心身の健全化に向けて、利用促進を図る。								
主要事業									
① 宿泊	- 事業 ⑤ 産直引	た店事業							
② クアバ	いウス(温泉入浴)事業 ⑥ 地場層	産品•特産品(の開発						
③ 食工原	房事業								
④ 郷土1	食販売事業								

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	
☑ ある (アドレス http://yutoland-himekami.com)
□ 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月)□ 作成予定なし	
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	
□ 事業内容 □ 財務状況 □ 役員氏名 □ その他()
ホームページ以外での情報提供の方法	
盛岡市ホームページで出資法人としての行政評価を公表。同市情報公開室で決算関係書類閲覧	可能。

3 職員構成 (単位:人)

1,54,5	概長冊次										
			常勤	į	うち市OB うち市派遣		非常勤	合計			
	取絲	帝役							7		7
役員	監査	查 役							2		2
	ii a	+		0		0		0	9	9	
	管理職	正職員		1					0	1	
	日生戦	臨時職員			_			-	U		
職員	一般職	正職員		6					18	29	
- 戦兵	川又叫玖	臨時職員	ļ	5	_			-	10		
	計	正職員		7		0		0	18	30	
	ĀΙ	臨時職員		5	_		_	-	10		30
前年度と比較して職員数の増減増 1 減 1 常勤職員				敞員の平均年齢	53	歳					
常勤職員の給与体系											
□ 法.	□ 法人独自の給与体系 ☑ 市の給与体系を準用 □ その他()										

4 財政状況等

資 本 金 (基本財産)	55,000 千円	本市出資等額	4	7,500 千	円	本市出資等	F割合	8	8 <mark>6.3</mark> %
主な出資等者		•			Į.		•		
① 盛岡市				(出資等	割合	86.3	%)		
② 新いわて農業物	協同組合			(出資等	割合	9.1	%)		
③ 岩手中央酪農	業協同組合			(出資等	割合	3.6	%)		/
④ 盛岡商工会議院	沂			(出資等	割合	0.9	%)	1/	/
5				(出資等	割合		%)	V	
	補助金		0	千円	(収	入全体の			%)
	負担金·交付金		0	千円	(収	入全体の			%)
令和7年度における当 市の財的関与の状況	委 託 料		0	千円	(収	入全体の			%)
	指定管理料		36,700	千円	(収	入全体の	-	18.8	%)
	貸付金		0	千円	(収	入全体の			%)
補助金内言	7	-							
1			(숙	3和7年度	予算	草額			千円)
2			(숙	3和7年度	予算	草額			千円)
3			(숙	3和7年度	予算	草額			千円)
負 担 金・交 付 金 内	訳								
1			(全	3和7年度	予算	算額			千円)
2			(숙	3和7年度	予算	算額			千円)
委 託 料 内 詰	5								
1			(4	3和7年度	予算	類			千円)
2			(숙	3和7年度	予算	類			千円)
指定管理料内	訳								
① 盛岡市総合交流	流ターミナル指定	管理料	(수	3和7年度	予算	類	36,700		千円)
2			(全	3和7年度	予算	算額			千円)
3			(숙	和7年度	予算	算額			千円)
貸付目的	(貸付金がある場	——— 结合記入)	利用米	4金対象が	— 色設	(利用料金がある場合	を制を採用 合記入)	してい	る施設
			盛岡市総	合交流タ	:—≅	ナル【ユー	トランド	近祁	≢]
			利用料金山	仅入(令和7	7年度	(予算額)	142,0	00	千円
			法人の収	入全体の			74		%

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	盛岡市総合交流ターミナル【ユートランド姫神】	
-------	------------------------	--

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
売上目標	千円	計画	125,000	125,000	142,000
ガニロ保	TD	実績	111,456	127,148	149,300
2		計画			
		実績			
3		計画			
3		実績			
4		計画			
4		実績			

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。
 - 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。
 - 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位:千円、%、人)

					(単位:十円、%、人)
	≥	☑ 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	売上	.高(A)	111,456	127,148	149,300
	売上	総利益	92,837	104,202	124,006
	販売	費•一般管理費(B)	138,331	143,149	150,137
収支の状況	営業	利益	▲ 45,493	▲ 38,947	▲ 26,131
	経常	'利益(C)	▲ 1,703	4 ,754	15,762
	税引	前当期純利益	▲ 1,703	4 ,754	15,762
	当期	純利益	1 ,888	4 ,939	15,577
	資産(D)		40,328	26,061	43,782
	177	ち流動資産(E)	36,030	21,905	39,661
	10	ち固定資産	4,298	4,156	4,120
	負債		29,486	20,159	22,301
	17	ち流動負債(F)	25,363	20,159	18,931
		うち短期借入金(G)			
財産の状況		うち有利子負債(H)			
	7	ち固定負債	4,123	0	3,370
		うち長期借入金(I)	4,123	0	0
		うち有利子負債(J)	0	0	0
	純資産		10,843	5,903	21,481
	77	うち資本金(K)	55,000	55,000	55,000
	5	うち剰余金(L)	4 4,157	4 9,097	▲ 33,519

	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	常勤役員数(M)	0	0	0
組織の状況	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(N)	30	29	30
	うち常勤職員数	29	28	29
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(M/総役員数)	0.0	0.0	0.0
	管理職員比率	0.0	0.0	3.3
	職員新規採用数	0	0	0
	うち常勤職員数	0	0	0
	売上高経常利益率(C/A)	▲ 1.5	▲ 3.7	10.5
経営指標	販売費·一般管理費比率(B/A)	124.1	112.5	100.5
	流動比率(E/F)	142.0	108.6	209.5
	借入金依存度((G+I)/D)	10.2	0.0	0.0
	自己資本比率((K+L)/D)	26.8	22.6	49.0
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	0.0	0.0	0.0
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	3,715	4,384	4,976
	補助金額		5,842	
	1 エネルギー価格高騰対策支援金		5,842	
	2			
	3			
	負担金 交付金額			
	1			
	2			
	委託金額	3,634	4,799	
本市の財政	① 地域おこし協力隊活動推進支援 業務委託費	3,634	4,799	
的関与等の	2			
状況	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法	特命随契	特命随契	
	指定管理料	36,897	26,567	36,700
	1	36,897	26,567	36,700
	2			
	3			
	貸付金額			
	損失補償額			
	債務保証額			
令和6年月	ま 決算の概要			

令和6年度決算の概要

令和6年度は小さな企業・温泉館なりの戦い方に徹し、持っている経営資源を最大限活かすことを考え、会社として総合的な実力の向上に努めた。これまで行っていたものを継続しつつ、魅力的な施設になるよう様々な取組を行ったところ、大幅に売上高及び利益が増となった。総売上高は4部門すべてが目標を上回り、目標対比105.3%を達成することができ、経常利益は計画目標の5,091千円を上回り、15,763千円となった。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

С	A:良好、	B:概ね良好、	C:改善を要する、	D:大いに改善を要する	

(コメント)

純売上高は改善傾向であり、4部門すべてで目標を上回り累積欠損金の減少を達成したが、一方で令和6年度から指定管理料が大幅に増額となっているため、将来的には指定管理料に依存しない体制を構築できるよう、引き続き支援を行う。

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄			
钳与	貝 问	はい	いいえ		
1	令和5年度決算において黒字である。		0		
2	令和6年度決算において黒字である。	0			
3	累積欠損金がある。	0			
4	令和6年度決算において減価償却前黒字である。				
5	事業計画どおりの償却前赤字である。				
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	0			
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未 満である。		0		
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%~ 100%である。	0			
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超 である。		0		